

九州大学附属図書館付設教材開発センターだより

ICER Newsletter

News pickup!

教材作成でお困りですか？

教材開発センターでは、各種講習会を開催しています



本センターでは、講義の録画・公開のほか、教員が電子教材を開発し公開する際のサポートを行っています。例えば、電子教材 (iPad 用電子書籍) を作るためのオーサリングソフトである iBooks Author。インタラクティブな教材を作るための機能が備わったソフトウェアで、電子教材を作ってみませんか？講習会では iBooks Author がインストールされた MacBook Air を使用して、実際に教材を作る利用実習を行っています。ほかにも、電子教材を作成する際に欠かせない著作権についての講習会を開催しています。著作権講習会では、「電子

教材に含まれる他人の著作物の使用許諾申請」、「著作権者のガイドラインに基づく点検」、「教材作成者側のガイドライン提案」などを解説。通常の講習会のほか、著作権 FD セミナーとして各部局や研究室へ「出前講習」することも可能です。ご希望の方は本センターまでお気軽にお問い合わせください。そのほかにも多数講習会を行っていく予定です。講習会の情報は、ICER ウェブサイトで随時お知らせしています。

 教材開発センター



P&P 3D医学教材開発が進行中です！

P&P (九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト)では、「病院地区における 3D 教材の開発および開発・提供体制の構築」として病院地区の教員と学生との連携により医学教育分野における 3DCG を活用した電子教材の開発を進めています。説明会・意見交換会を開催後、そこで募った協力教員と学生と共に、医学部医学科・生命科学科の1年生を対象とする「骨学」について 3D 電子教材の作成に着手しました。現在は、iPad や Android 端末等の最新の携帯端末を使用して、場所や時間に制限されることなく教材の閲覧が可能となるように Web ベースのコンテンツとして教材開発を進めています。

詳しくはこちら ▶▶ <http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/pandp/>



Web学習システム活用事例



Web 学習システム (Blackboard Learn R9.1) では、授業をコースとして登録して利用するのが一般的ですが、授業以外で利用することも可能です。現在教職員向けに「科学研究費助成事業公募要領説明」、「適正な研究活動に向けた説明会」、「情報倫理ビデオ教材」等が提供されています。また、大学病院看護部では、新採用者のためのオリエンテーション、日常の看護実践研修、静脈注射院内認定看護師育成研修、看護手順やインシデント情報の提示等、業務に必要なコンテンツを幅広く提供しています。Web 学習システムにはコミュニティという機能もあり、部局、部門、課、係、セミナー、グループ等のさまざまな範囲で情報の共有や意見交換を行う場も作成することができます。

教材コンテンツを公開しています

教材開発センターでは授業や講演会、講習会、セミナーの録画と公開を行っております。録画したものは YouTube、iTunes U、QOCW (九州大学オープンコースウェア) などで公開しており、図の通り九大のトップページより YouTube と iTunes U ヘリクしてありコンテンツをご覧いただけます。2013 年 2 月現在公開のコンテンツ数は YouTube286、iTunes U39、QOCW44 となっております。来年度の授業、また講演会などの録画をご希望の方は、video@icer.kyushu-u.ac.jp へご連絡頂くと対応させていただきます。詳細は ICER の web ページ「教材作成支援」>「撮影・公開について」に掲載しております。



ICER Newsletter創刊に寄せて



教材開発センター
センター長 藤村 直美

教材開発センターは、九州大学における教材の質を向上することで教育の質を改善することを目的に平成 23 年 4 月に設置されました。当初は授業の復習や予習を容易に行えるように授業を録画し、公開できる体制を構築してきました。その成果は YouTube、iTunes U、QOCW (九州大学オープンコースウェア) 等を通じて有効活用されています。一方、平成 25 年 4 月からの学生 PC 必携化に伴って、電子教材や SNS の活用等、ICT をさらに活用した教育が可能になります。そのため最近では教員向けの電子教材作成支援のための各種講習会に力を入れています。センター自身も独自に革新的な教材や教育方法を開発・提案するなど、様々な活動に取り組んでいます。こうした活動を通じて、教材開発センターは、何時でも、何処でも、自律的に、自分のペースで学習できる学習環境の実現や教材作成の支援を行っていきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

教材開発センターは、九州大学における教材の質を向上することで教育の質を改善することを目的に平成 23 年 4 月に設置されました。当初は授業の復習や予習を容易に行えるように授業を録画し、公開できる体制を構築してきました。その成果は YouTube、iTunes U、QOCW (九州大学オープンコースウェア) 等を通じて有効活用されています。一方、平成 25 年 4 月からの学生 PC 必携化に伴って、電子教材や SNS の活用等、ICT をさらに活用した教育が可能になります。そのため最近では教員向けの電子教材作成支援のための各種講習会に力を入れています。センター自身も独自に革新的な教材や教育方法を開発・提案するなど、様々な活動に取り組んでいます。こうした活動を通じて、教材開発センターは、何時でも、何処でも、自律的に、自分のペースで学習できる学習環境の実現や教材作成の支援を行っていきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

着任のご挨拶

平成 25 年 1 月 1 日付けで教材開発センター教授となりました岡田義広です。よろしくお願いたします。3 次元 CG や仮想現実感技術等の ICT を高度に活用することにより、学生の興味を掻き立て学習意欲を高める教材の提供が可能となります。優秀な学生の輩出は大学の大きな使命の一つであり、そのような教材を開発し講義で使用するによる教育の質の向上は非常に重要です。特に、九州大学における無線 LAN 環境の整備や本年 4 月から入学生の PC 必携化が始まり、どの講義室でも電子教材を利用した講義が可能となることから電子教材の開発およびその支援が今後ますます重要となります。教材開発センターでは、講義ビデオ教材の撮影・編集・公開や講義で使用される e ラーニング環境の整備のほか、3 次元 CG や仮想現実感技術等を活用した電子教材の開発を強力にサポートいたします。積極的に教材開発センターをご活用ください。



教材開発センター
教授 岡田 義広

教材作成をサポートします！

電子教材開発のための素材をご用意いただければ、教材を開発する場合のノウハウや技術面について教材開発センターがサポートさせていただきます。例えば、『学生が Web ブラウザ上で教材コンテンツを見れるようにしたい』、『iPad や iPhone を利用して教材コンテンツの閲覧を学生にさせながら講義を行いたい』、『教材を電子書籍として開発し学外に公開したい』、など、このようなご希望がございましたら、教材開発センターにご相談ください。

▶▶ 詳しくは、教材開発センターウェブサイト (<http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/>) まで ◀◀